

**2015年3月期
第2四半期決算説明会**

**大豊工業株式会社
2014年11月27日**

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている当社業績見通しは、現時点で把握している情報に基づき、当社が判断したものです。実際の業績は、今後の経済動向、市場の需要、為替レートの変動、税制や諸制度など、様々なリスクや不確定要素に左右されます。従いまして、実際の当社業績は見通しと異なる結果になる場合があることを、あらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えくださいますようお願いいたします。

1. 2015年3月期 第2四半期実績
2. 2015年3月期 通期業績予測
3. 将来への取り組み

2015年3月期第2四半期（2Q）決算の概況 =連結=

(百万円)

	2015年3月期 2Q		2014年3月期 2Q実績②	増減値 ①-②	増減率
	4月時点予測	実績①			
売上高	46,000	49,006	45,513	3,492	7.7%
営業利益	2,100	2,260	2,067	193	9.4%
経常利益	2,000	2,237	2,369	△132	△5.5%
四半期純利益	1,200	1,411	1,460	△49	△3.4%
為替レート	100円/ドル 130円/ユーロ	103円/ドル 139円/ユーロ	99円/ドル 130円/ユーロ	4円/ドル 9円/ユーロ	—
1株当たり純利益	41.94円	49.30円	51.36円	△2.06円	△4.0%

事業別売上高 =連結=

(百万円)

25,000

20,000

15,000

10,000

5,000

0

□ 2014年3月期 2Q

■ 2015年3月期 2Q

軸受

システム製品

ダイカスト製品

ガスケット製品

設備・金型

2014年3月期 2 Q

20,409

5,919

5,046

6,010

5,668

2015年3月期 2 Q

22,067

5,618

5,173

5,777

7,937

増減額

1,658

△300

126

△233

2,268

増減率

8.1%

△5.1%

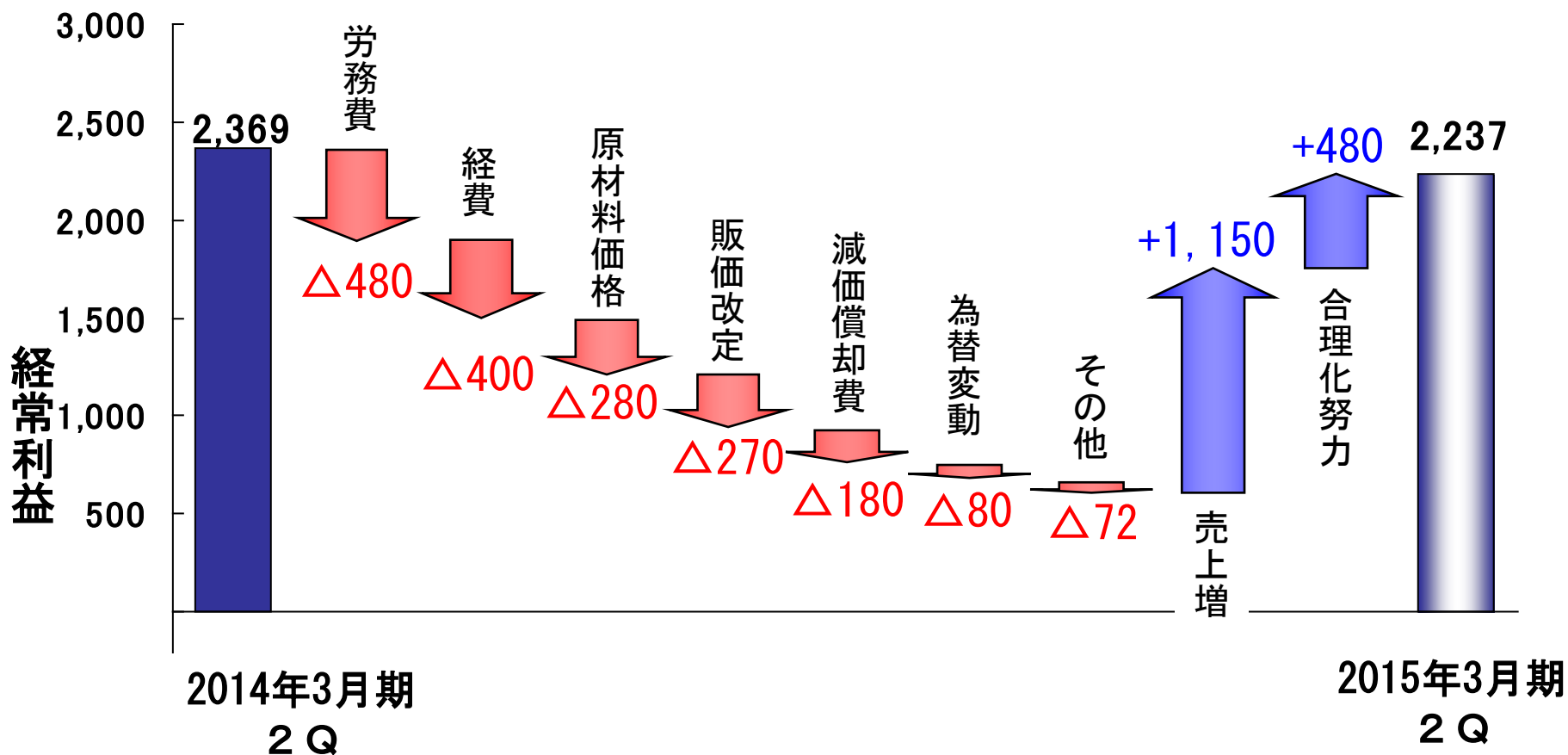
2.5%

△3.9%

40.0%

経常利益増減要因(前年同期比) = 連結 =

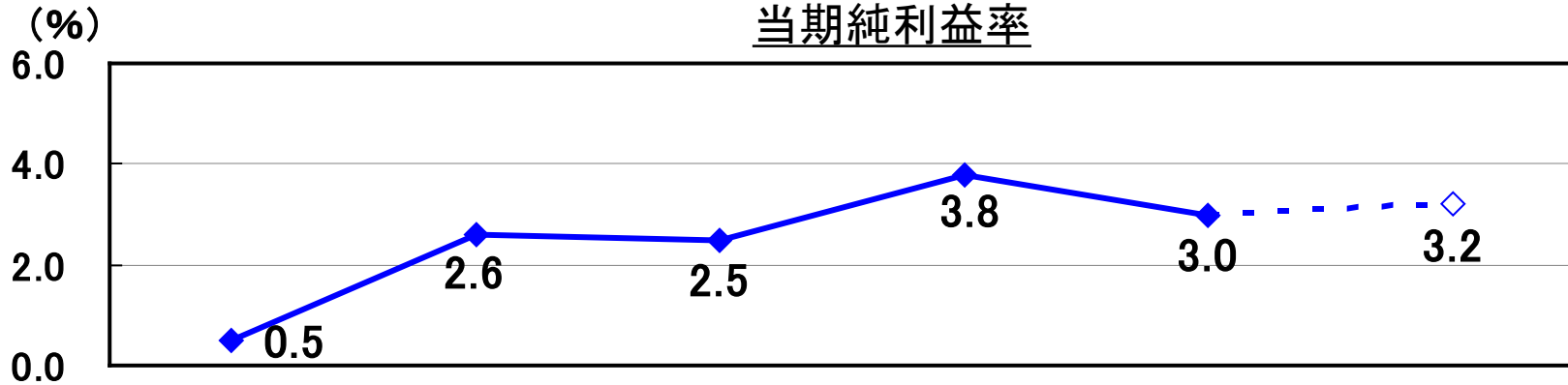
(百万円)



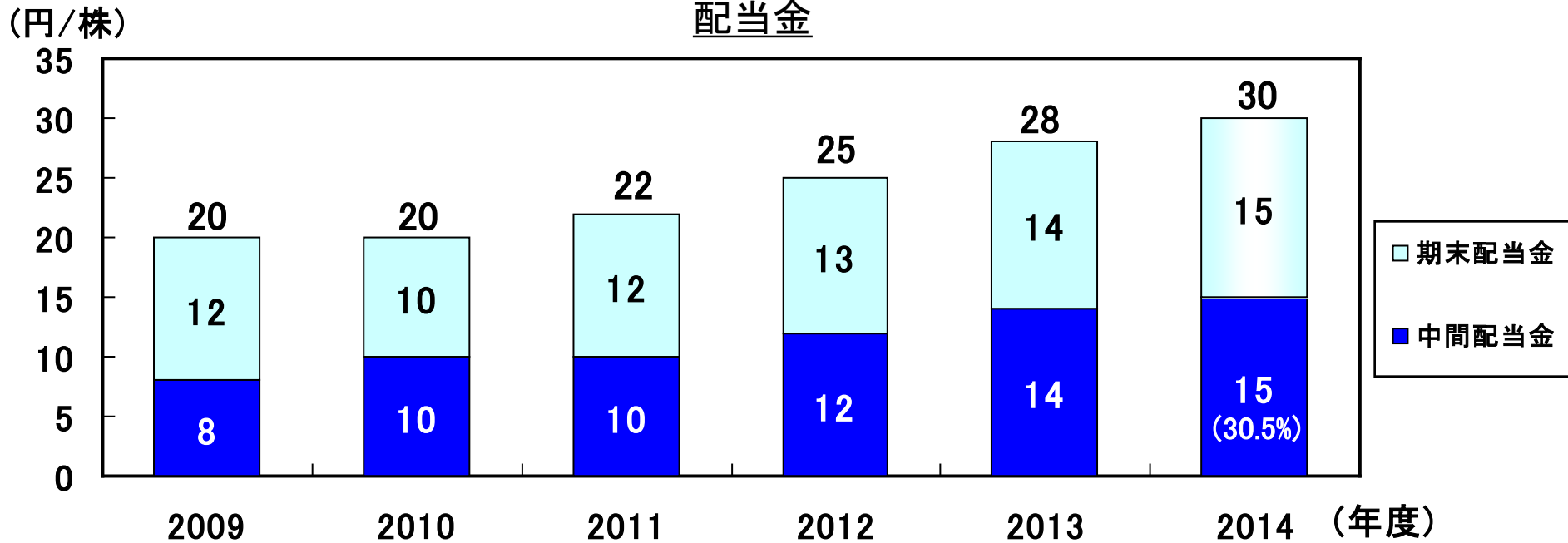
経常利益 132百万円の減

株主還元

当期純利益率



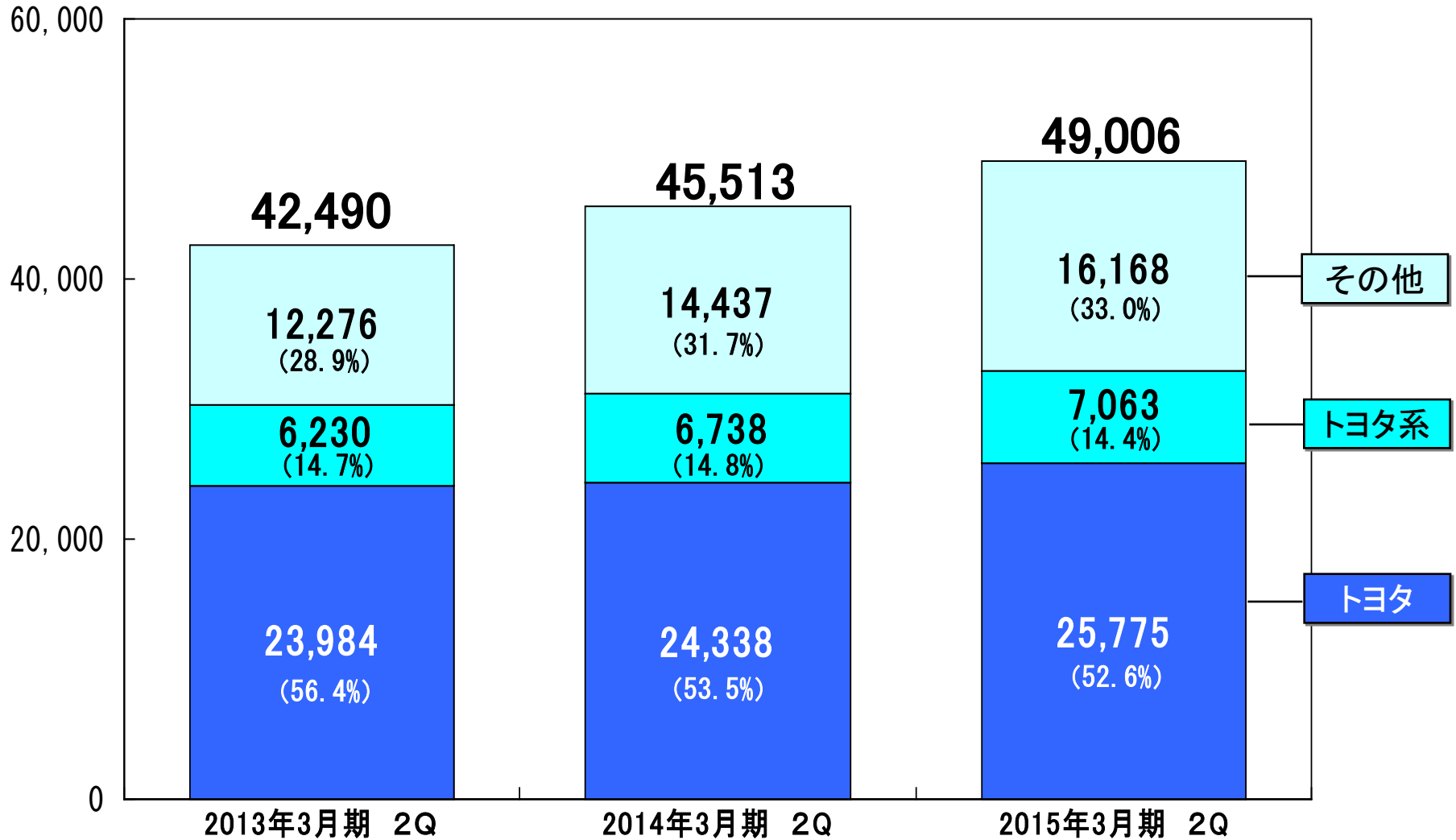
配当金



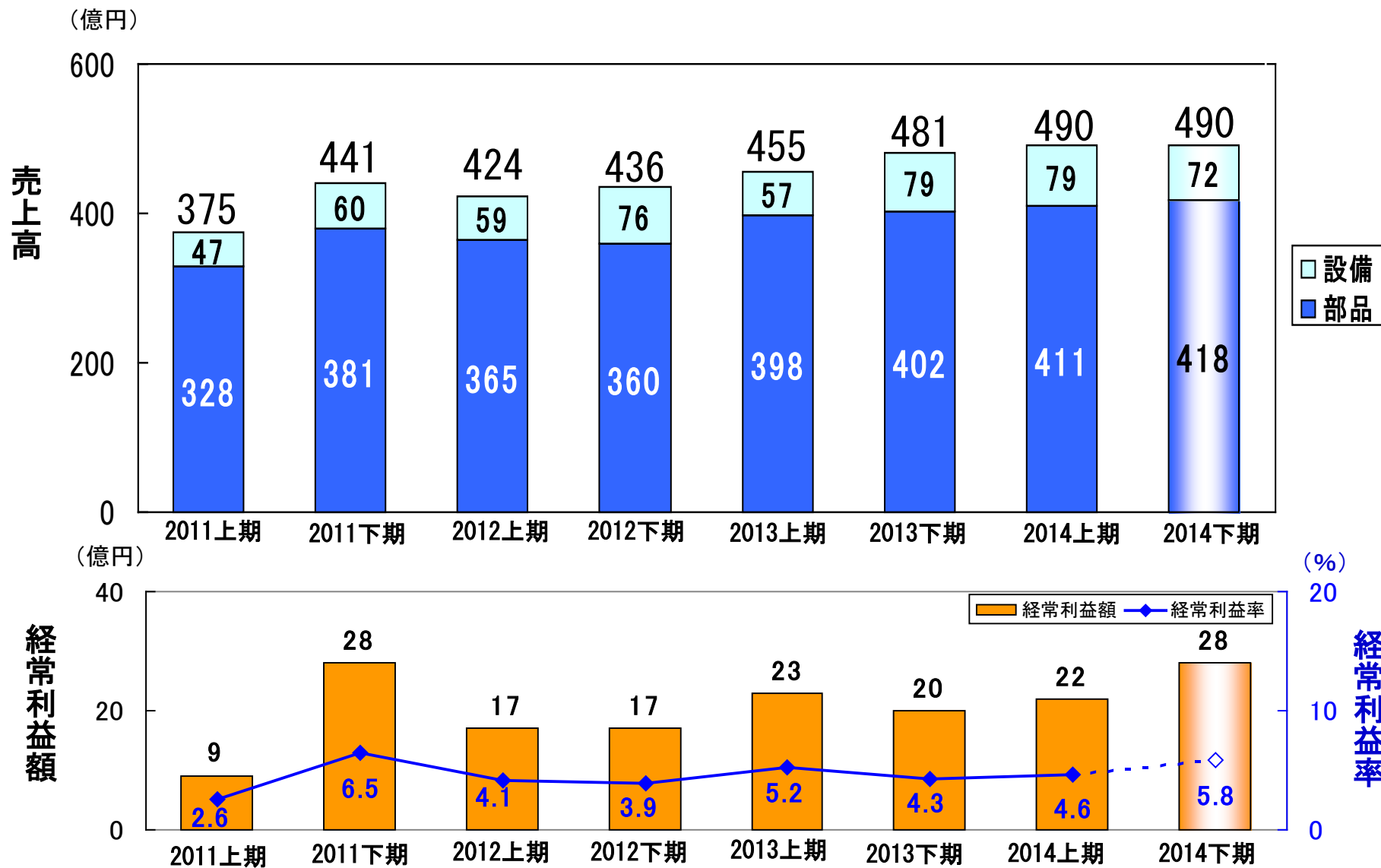
長期安定的な配当を実施し、配当性向30%をめざす

顧客別売上高構成 =連結=

(百万円)



売上高・経常利益の半期推移＝連結＝



1. 2015年3月期 第2四半期実績
2. 2015年3月期 通期業績予測
3. 将来への取り組み

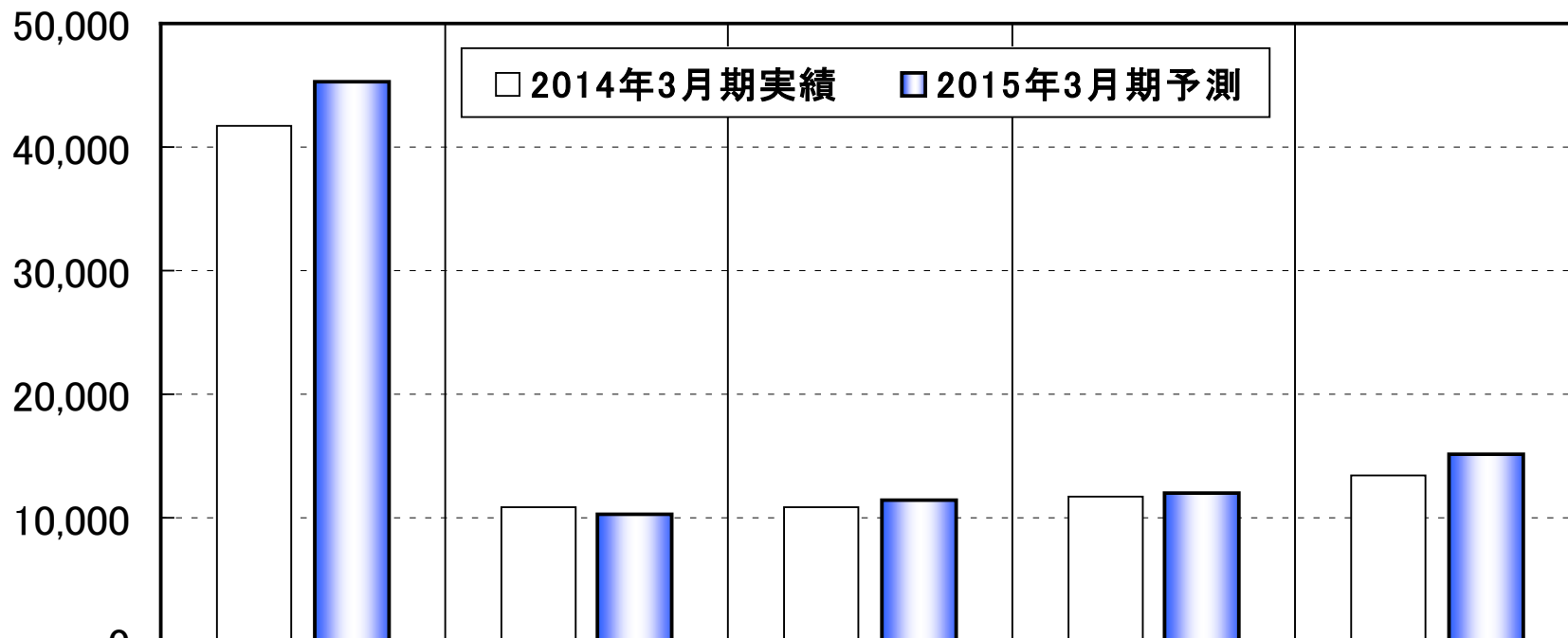
2015年3月期 通期業績予測 =連結=

単位:百万円

	2015年3月期予測	2014年3月期実績	増減値	増減率
売上高	98,000	93,632	4,368	4.6%
営業利益	5,200	4,162	1,038	24.9%
経常利益	5,100	4,449	651	14.6%
当期純利益	3,100	2,796	304	10.8%
為替レート	102円/ドル 137円/ユーロ	100円/ドル 134円/ユーロ	2円/ドル △3円/ユーロ	—
1株当たり 純利益	108.36円	98.11円	10.25円	10.4%
トヨタ 世界生産台数	900万台	895万台	5万台	0.6%

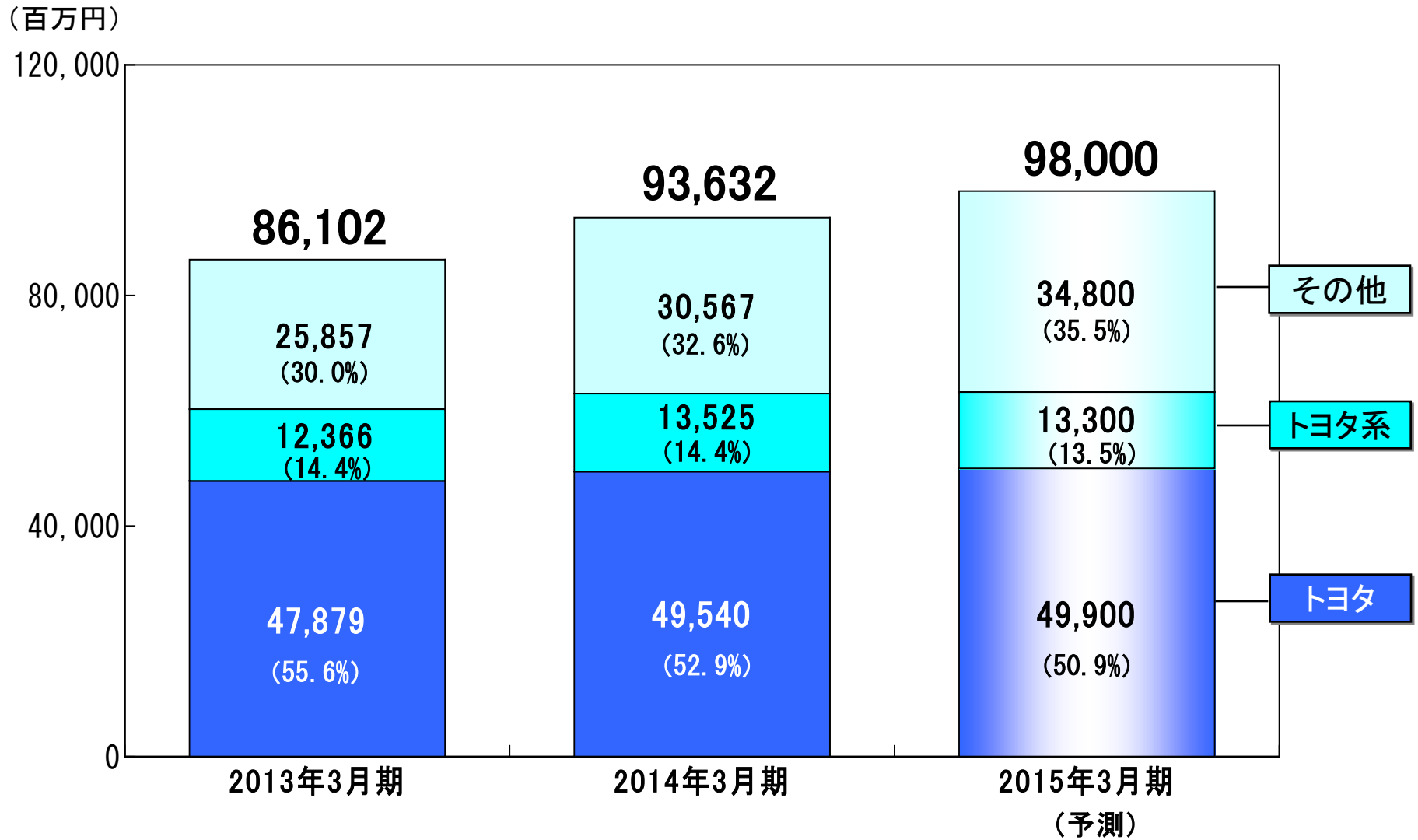
2015年3月期 事業別売上高予測 =連結=

(百万円)



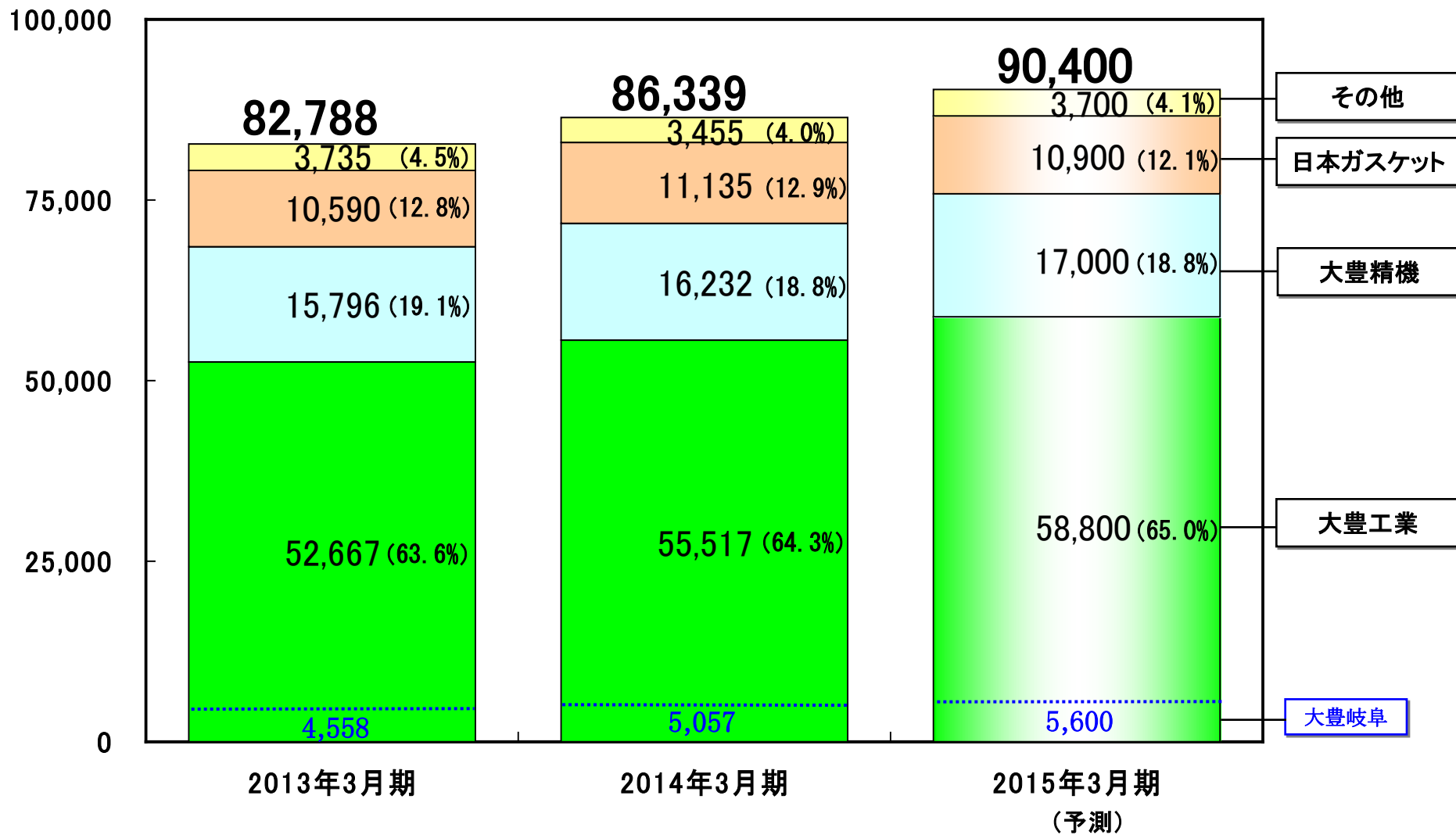
	軸受	システム製品	ダイカスト製品	ガスケット製品	設備・金型
2014年3月期	41,769	10,854	10,850	11,736	13,473
2015年3月期予測	45,225	10,301	11,386	11,985	15,160
増減額	3,456	△553	536	249	1,687
増減率	8.3%	△5.1%	4.9%	2.1%	12.5%

顧客別売上高構成 =連結=



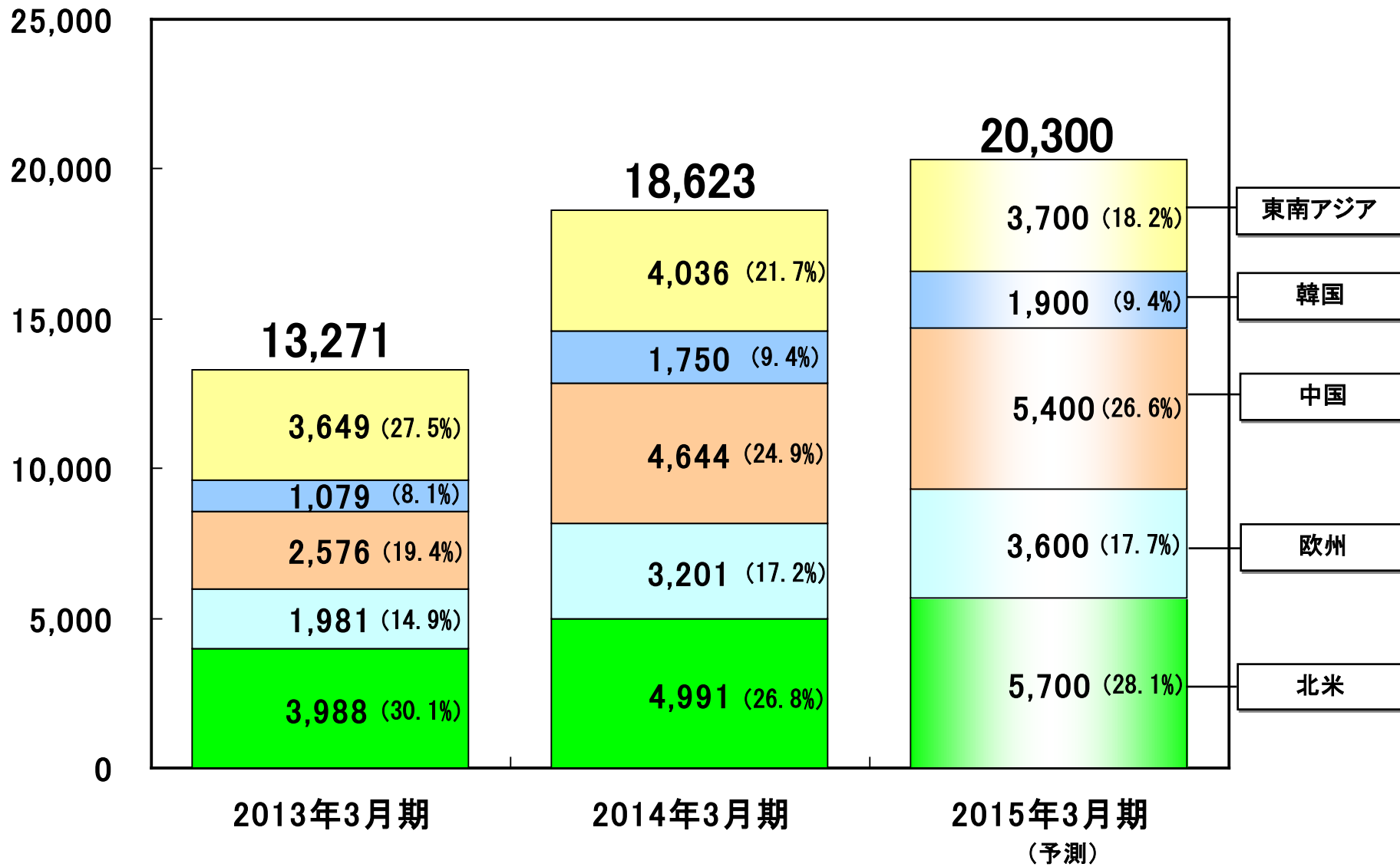
国内連結売上高（連結消去前）

（百万円）



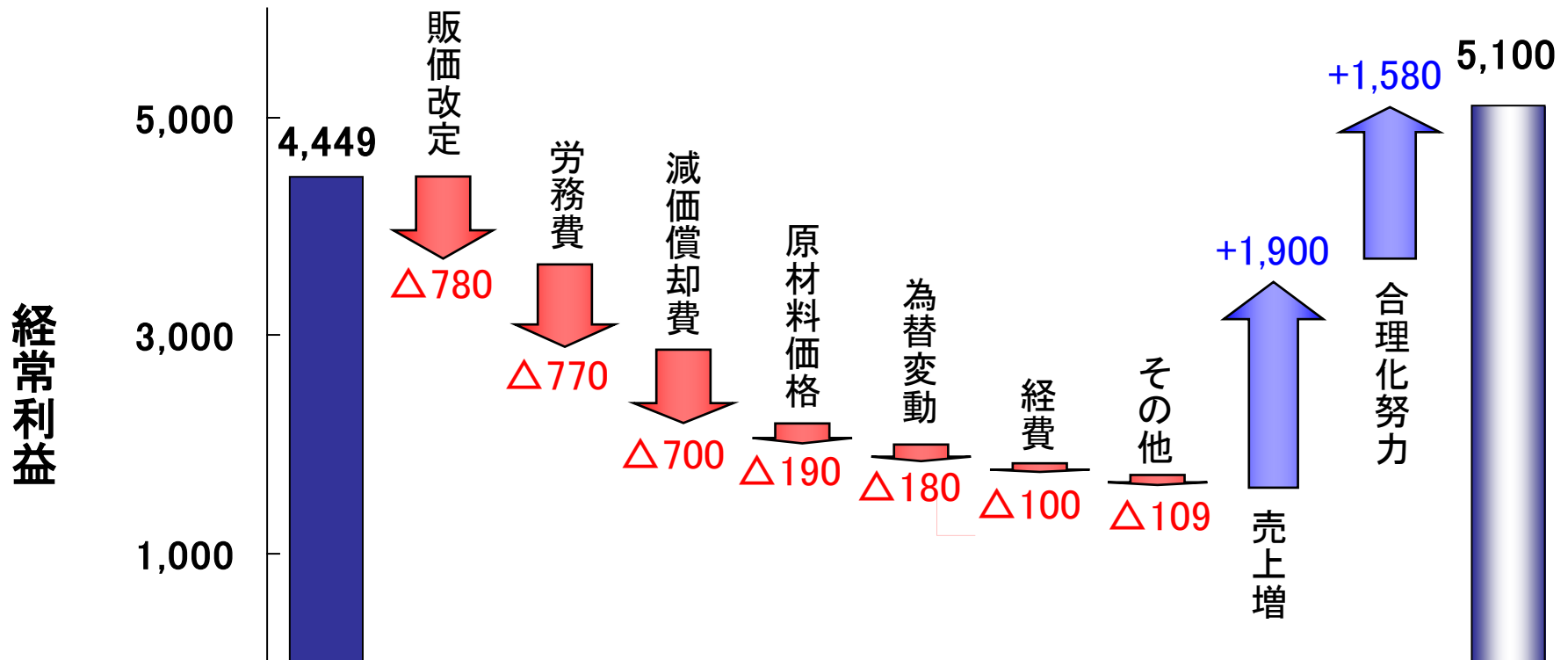
海外連結売上高（連結消去前）

(百万円)



経常利益増減要因予測(前年比) =連結=

(百万円)

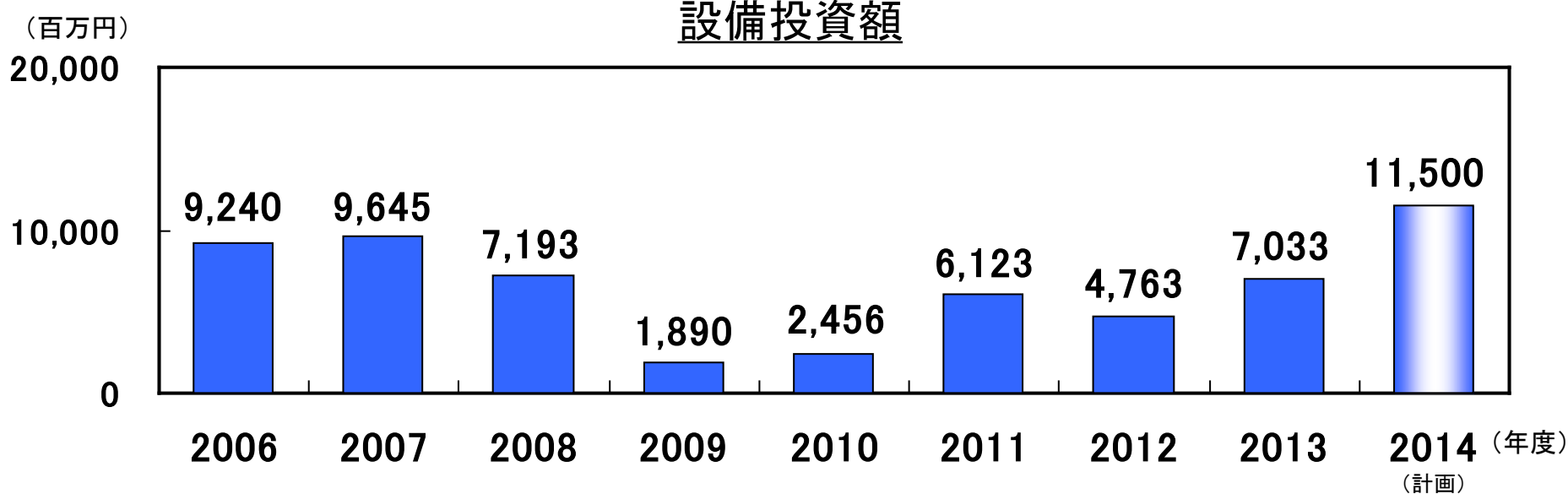
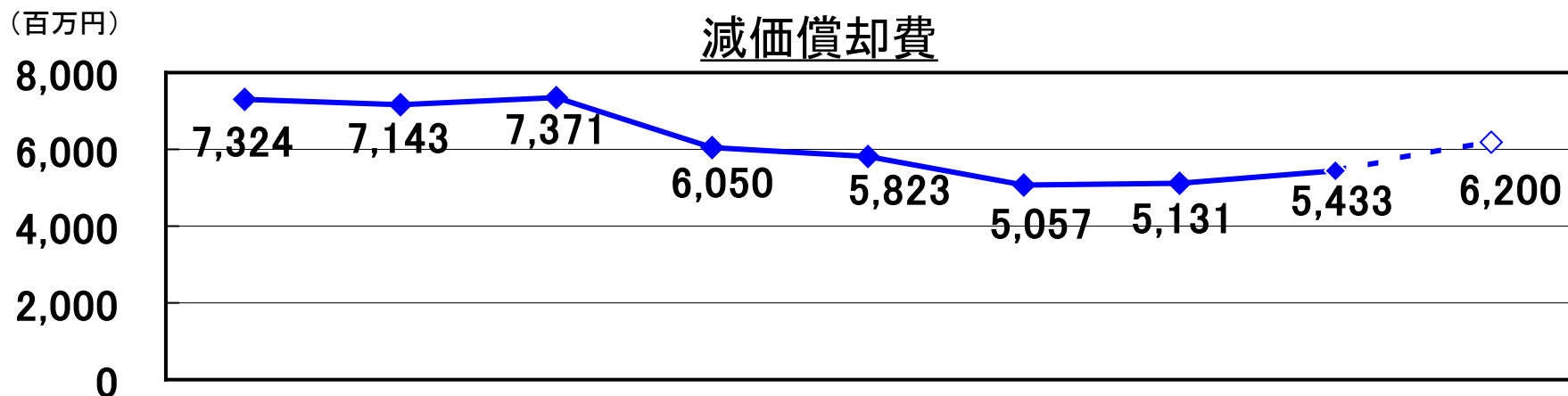


2014年3月期

2015年3月期
(予測)

経常利益 651百万円の増

減価償却費・設備投資額 = 連結 =



2011年度以降、新規事業開発に向けた積極的な投資を実施

目次

1. 2015年3月期 第2四半期実績
2. 2015年3月期 通期業績予測
3. 将来への取り組み

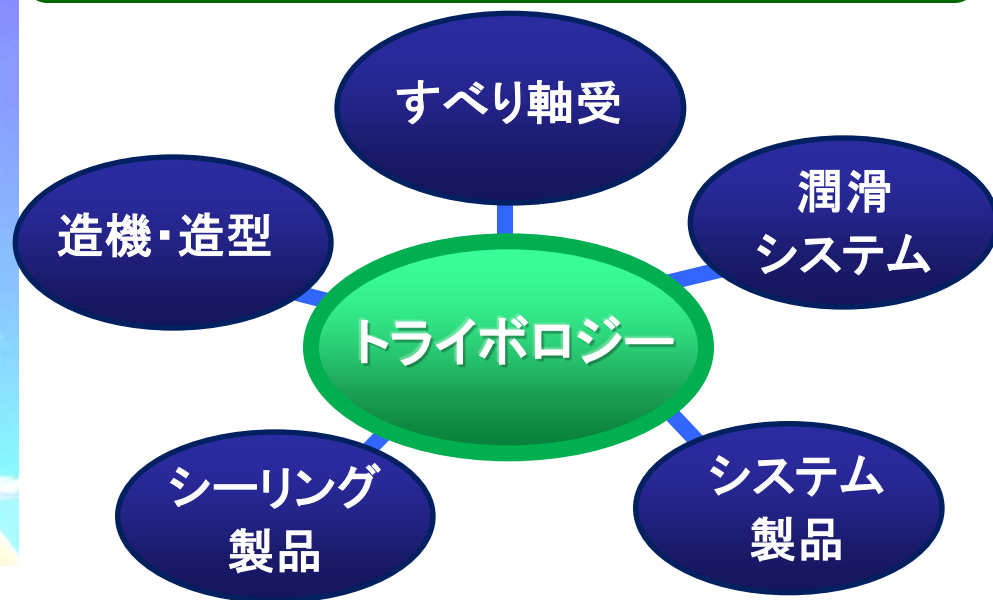
中期経営計画の進捗

VISION2015

すべり軸受No.1, 環境ブランド獲得

使命

大豊グループは
トライボロジーを基盤とした
製品とエンジニアリングをもって
社会に貢献する
(ステークホルダー・地球環境)



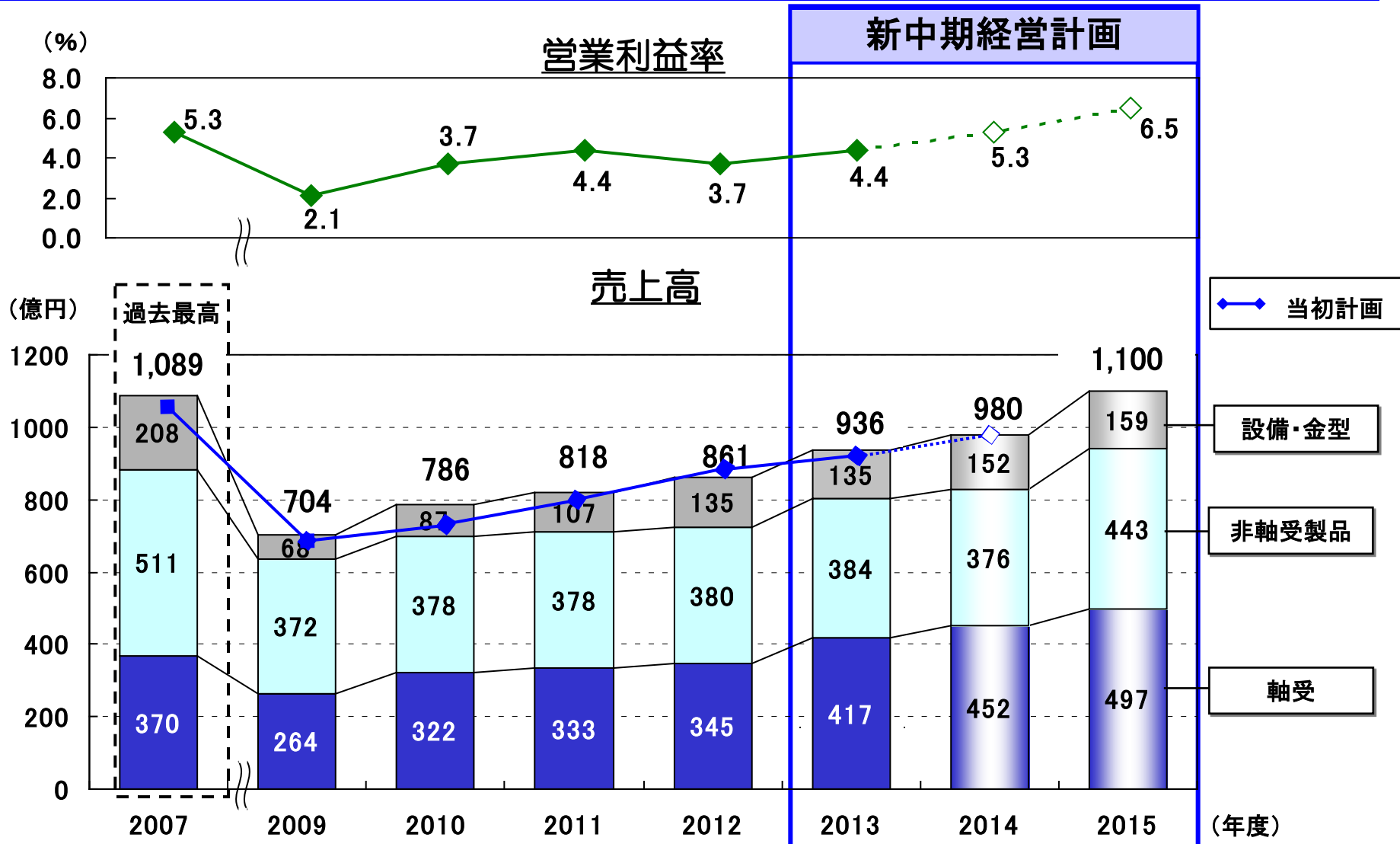
【中期経営方針】

～ 信頼されるグローバル企業を目指して ～

【活動の3軸】

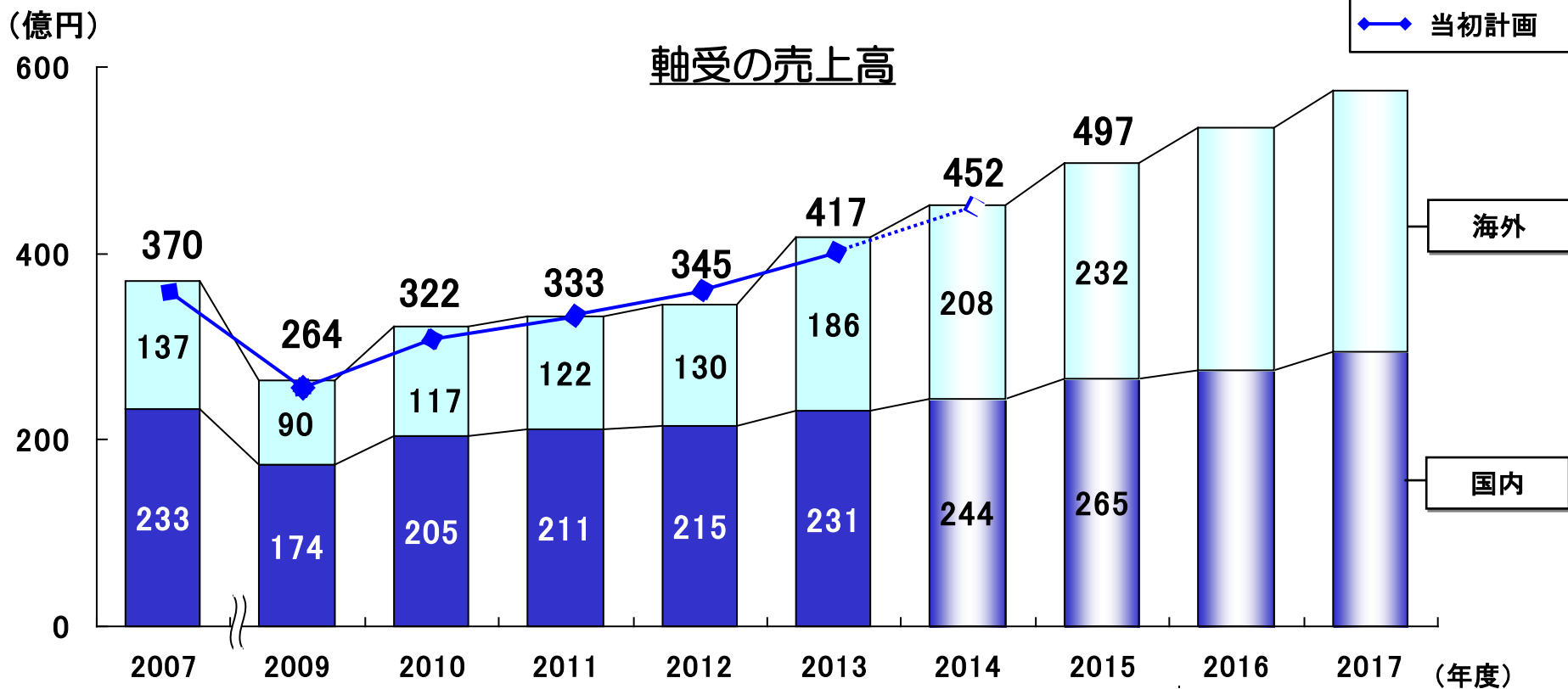
- ① 製品・製造領域のグローバルな拡大
- ② 製品技術・生産技術の革新
- ③ 人財力の強化

新中期経営計画 達成目標



2015年度 売上高 : 拡販努力によって計画を上回る見込み。
 営業利益 : 合理化努力の推進で達成をめざす。

軸受の売上拡大



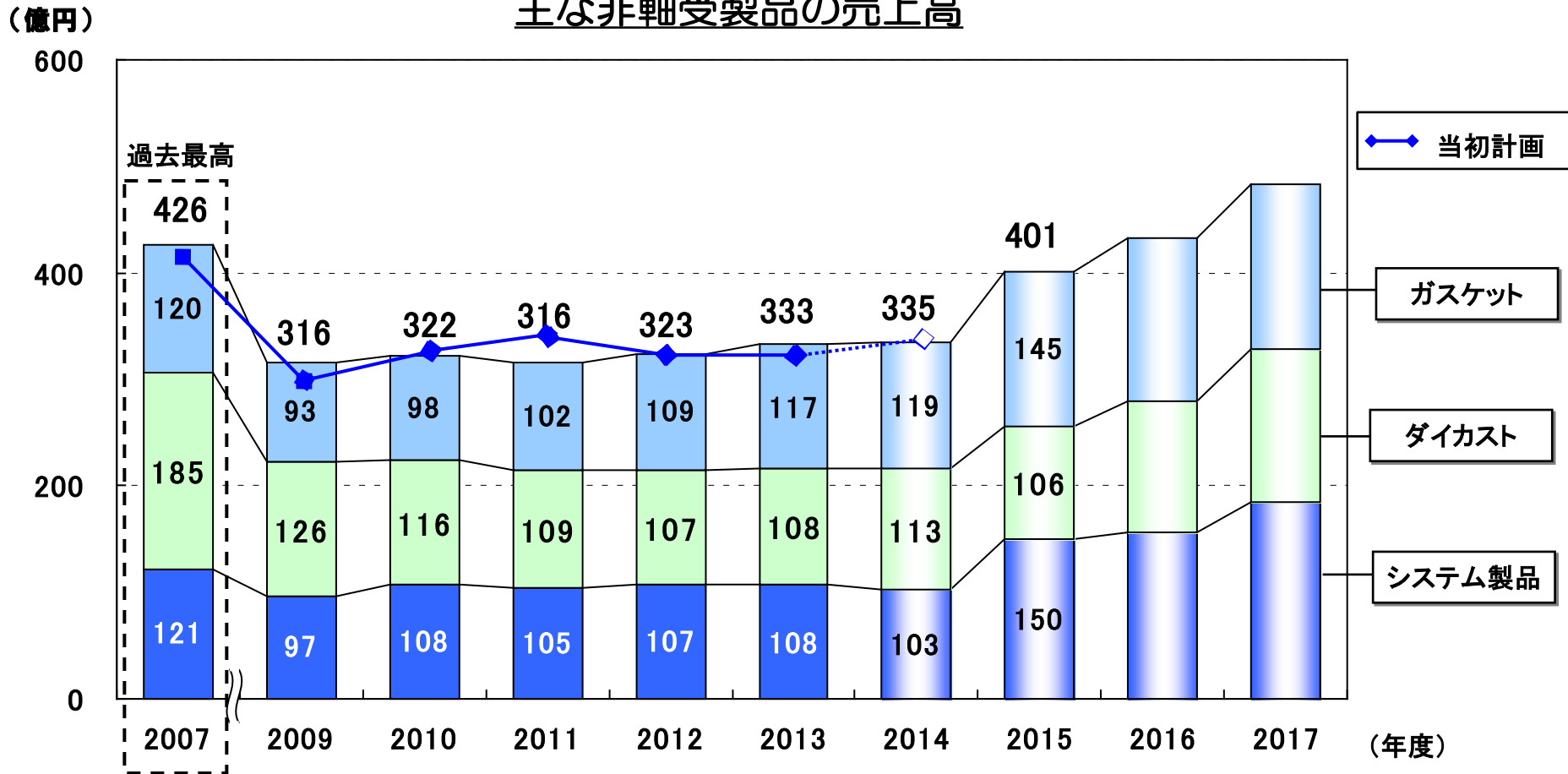
エンジンベアリングのシェア

2009年:17% ➡ 2013年:20% ➡ 2015年:トップシェア

新規受注と市場拡大により、海外顧客を中心に売上を拡大

システム製品を中心とした非軸受製品の売上拡大

主な非軸受製品の売上高




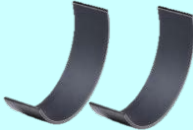









2014年度：モデル末期製品の影響で一時的に減少

2015年度：新型バキュームポンプの立上げにより計画達成の見込み

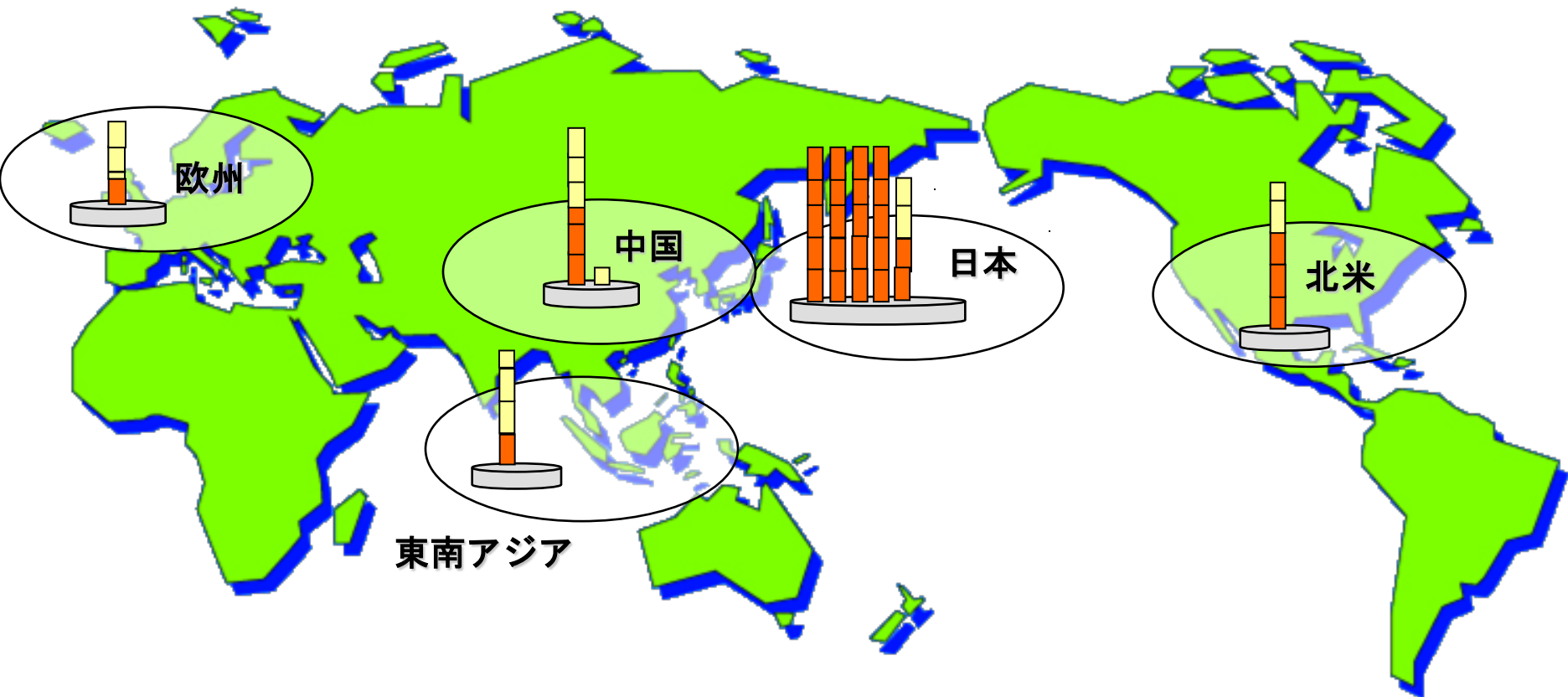
2016年度：システム製品の拡大で売上増をめざす

トピックス

軸受製品の拡大

	2012	2014	2016
国内	<p>エンジンベアリング 新工法</p> 	<p>樹脂コーティング新工法</p> 	<p>樹脂コーティング新材料</p> 
北米	<p>TCA 工場拡張</p> 		<p>樹脂コーティング</p>
中国	<p>WBM 完全子会社化</p> 		<p>樹脂コーティング</p> <p>エンジンベアリング新工法</p>
東南アジア	<p>PTN 工場拡張</p> 		<p>エンジンベアリング新工法</p>
韓国	<p>TCK 工場拡張</p> 		<p>新型軽量シュー</p> 

エンジンベアリング生産能力の拡大

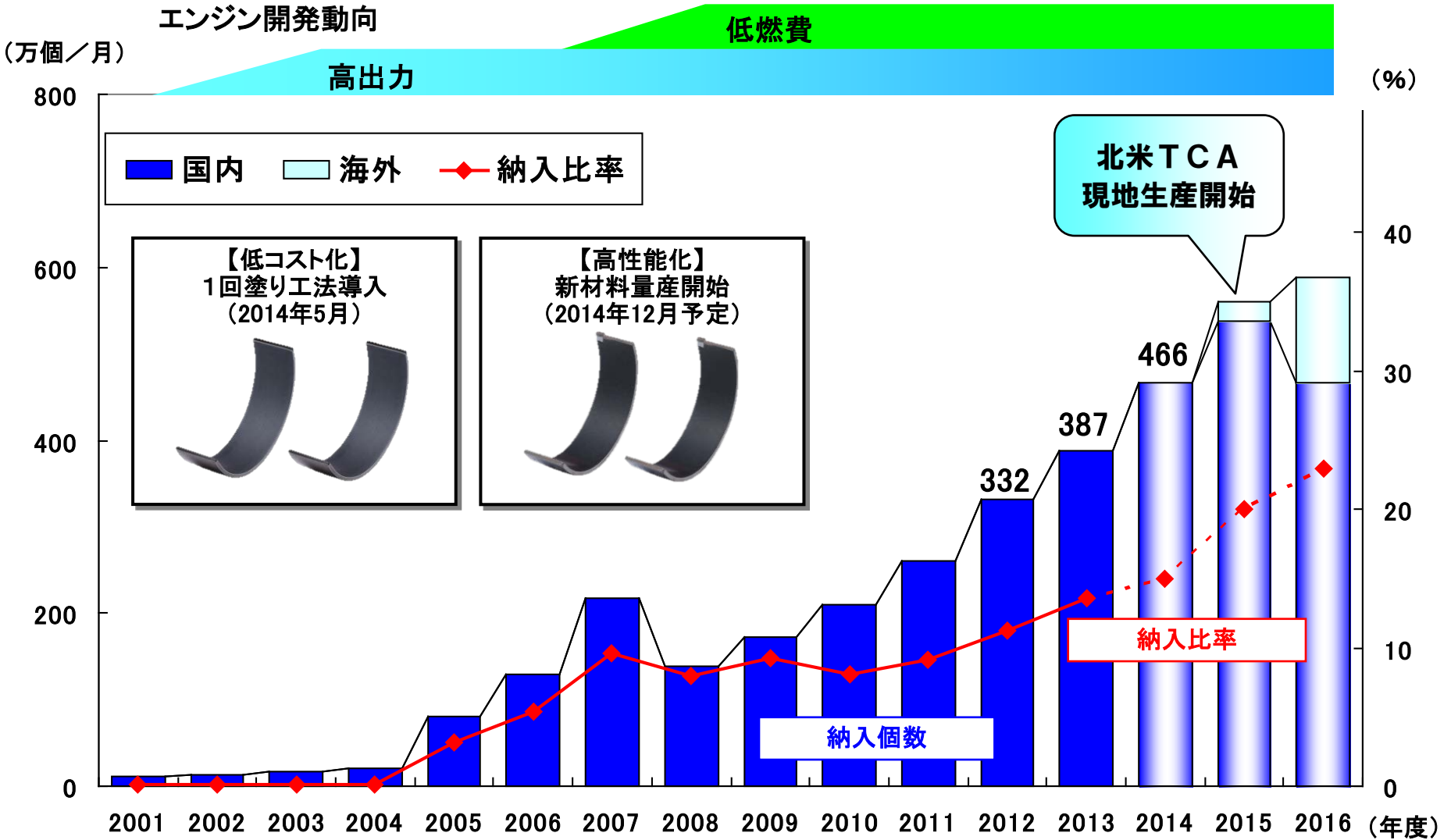


グローバル生産能力

3,000万個/月 (2012年度) ⇒ 4,000万個/月 (2015年度)

樹脂コーティングベアリングの拡大

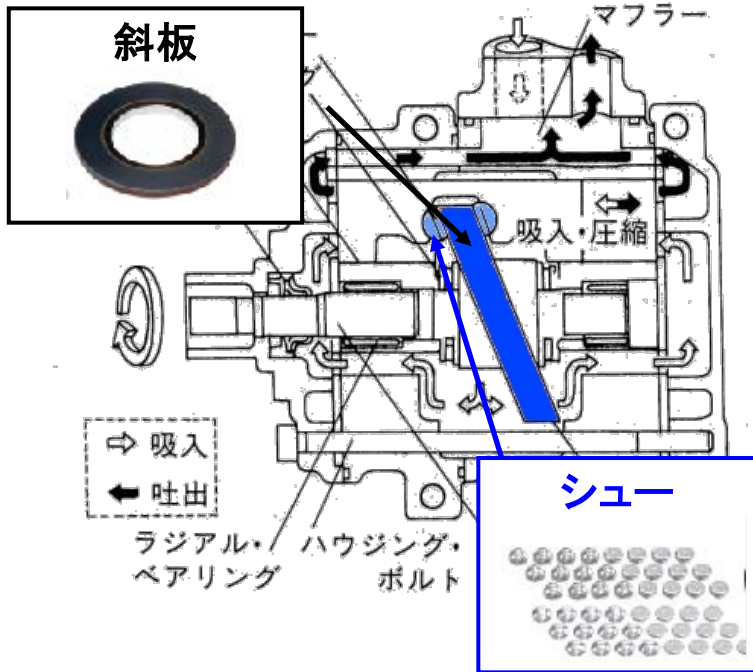
樹脂コーティングベアリング 納入数量



【納入顧客数】2001年:1社 → 2006年:3社 → 2010年:7社 → 2014年:9社

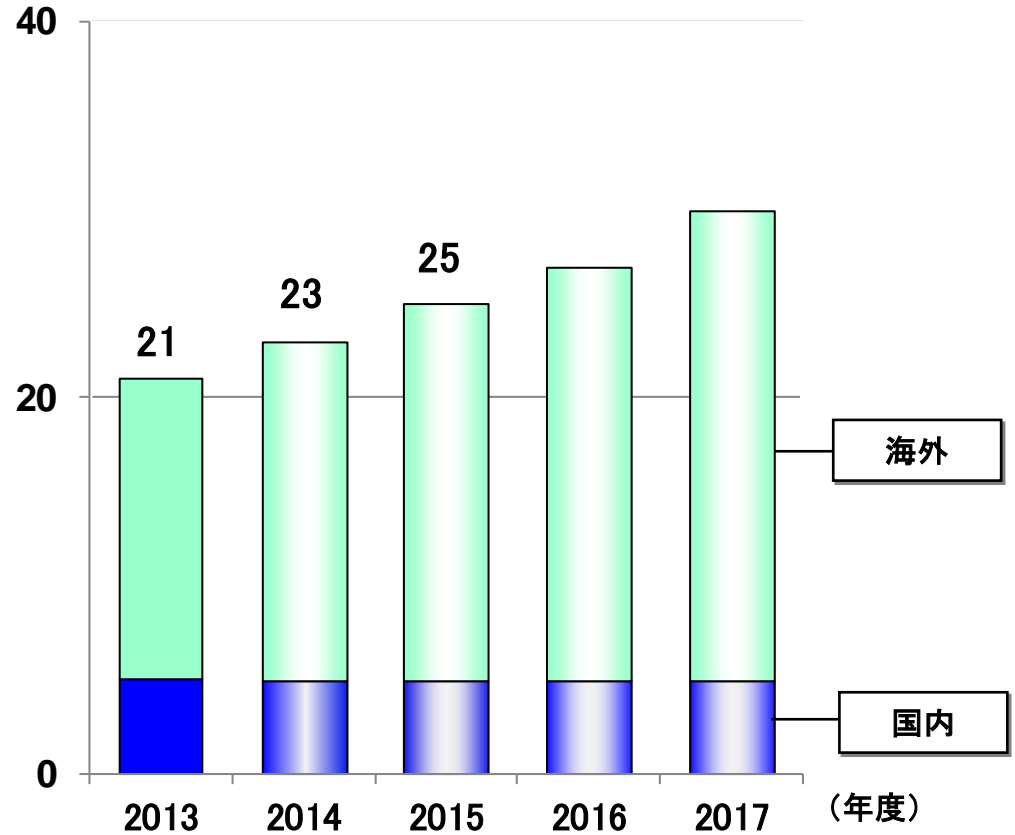
カーエアコン用コンプレッサ部品の拡大

斜板式コンプレッサ

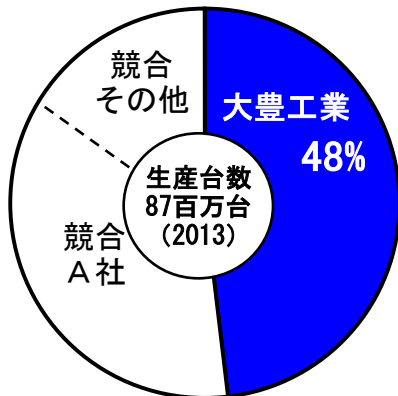


(百万個/月)









シュー 納入数量



シューの世界シェア(推定)



非軸受製品の拡大

	2012	2014	2017
新製品			潤滑部品
		<p>過給ガソリン用 バキュームポンプ</p> 	<p>ディーゼル用 バキュームポンプ</p> 
		<p>新型ターボ部品</p> 	
	<p>抄造樹脂ギヤ</p> 		
海外生産		<p>TCT 新工場建設</p> 	<p>バキュームポンプ タイ生産</p> 
		<p>シリンダヘッドガスケット 中国生産</p>  	<p>シリンダヘッドガスケット タイ生産</p>

バキュームポンプの拡大

タイ(TCT)新工場完成

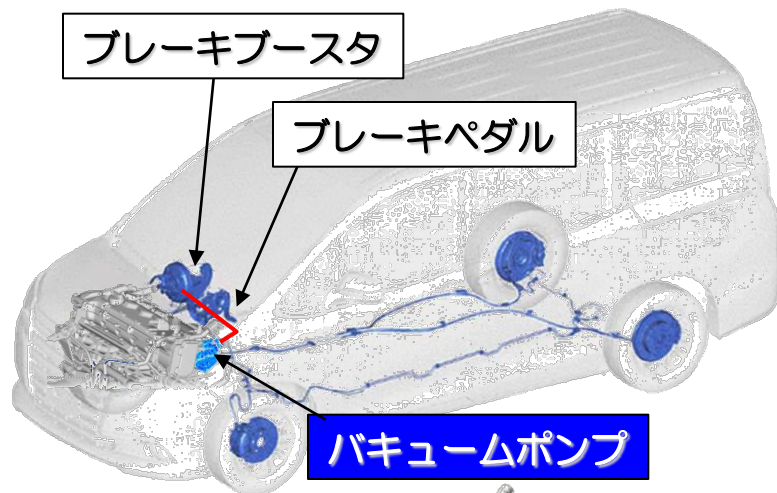
- 2014年 2月 建屋完成
- 2014年10月 開所式
- 2015年 1月 バキュームポンプ量産開始 (予定)



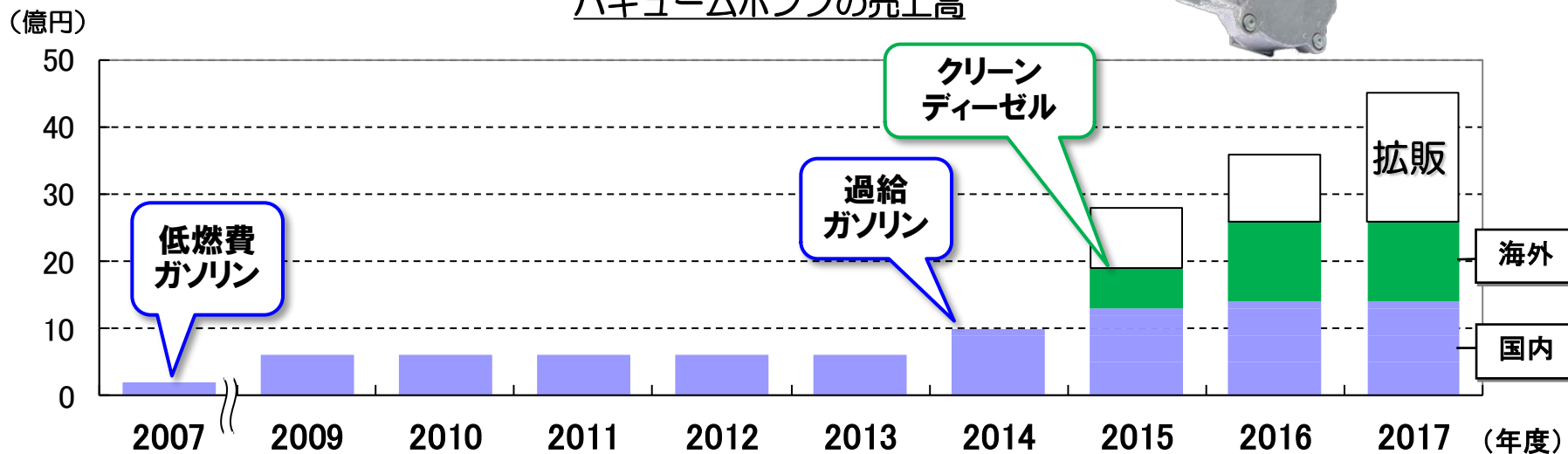
新工場外観



開所式



バキュームポンプの売上高



V I S I O N 2 0 2 0

VISION2020 ～地球環境とお客様への貢献～

トライボロジーをコアに、軸受をはじめとした環境に貢献する製品を迅速に生み出し、グローバルにお客様へお届けする

VISIONを実現する人財

グループの持続的成長

地球環境に貢献する
イノベーション

グローバル供給を支える
製造・生産技術

2020年の世界

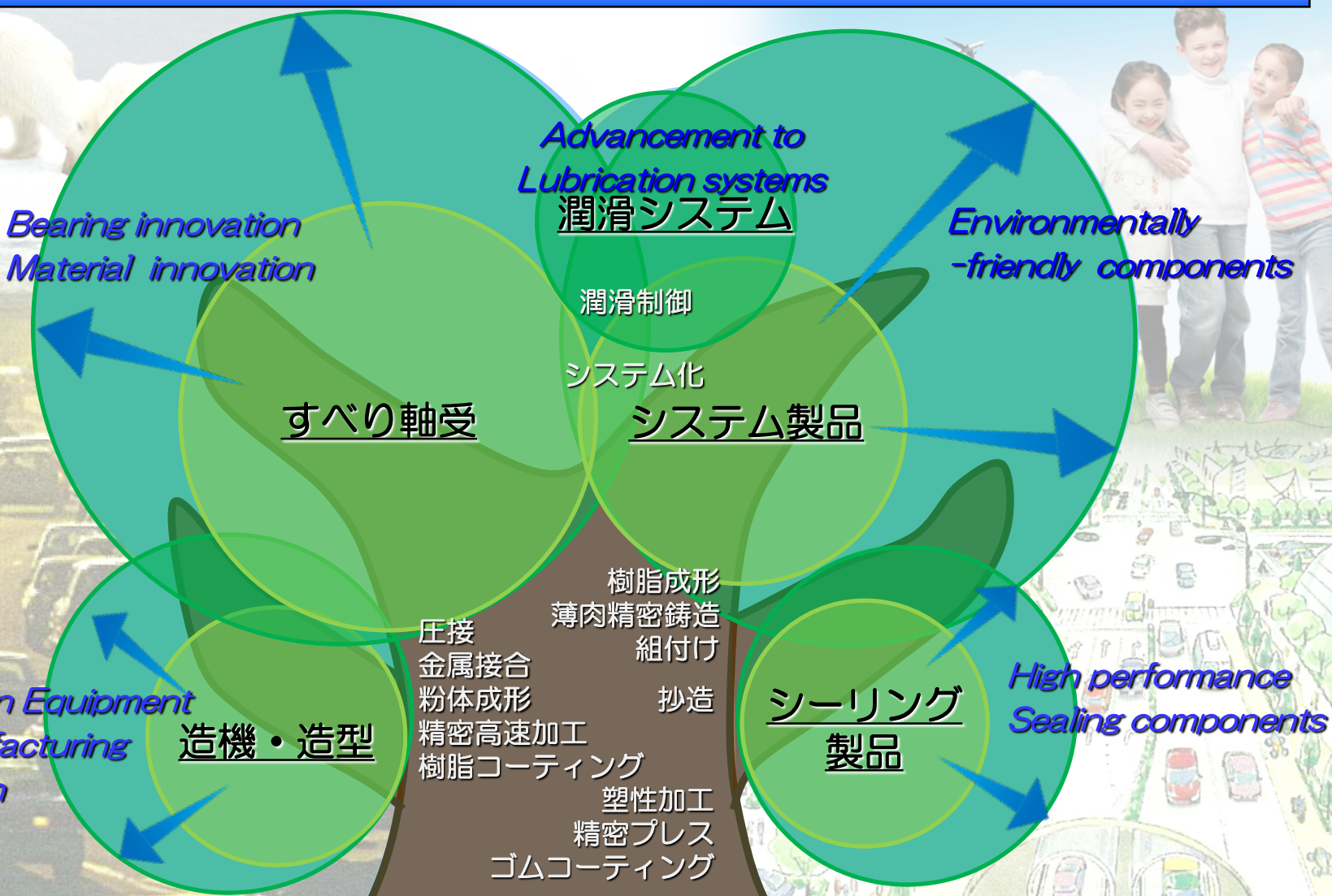
多様化するエネルギーと
広域化する環境課題

発展途上国の人口増と先進国の高齢化、
生活環境の高度化につれ資源が枯渇

成長を続ける新興国と高度化する先進国、
自動車市場は1億台へ

環境技術が進化し、
技術のモジュール化と大規模化が進展

多様な製品群で地球環境とお客様に貢献する



トライボロジー

流れ解析 軸受設計 CFD
EHL解析 材料設計 CASE

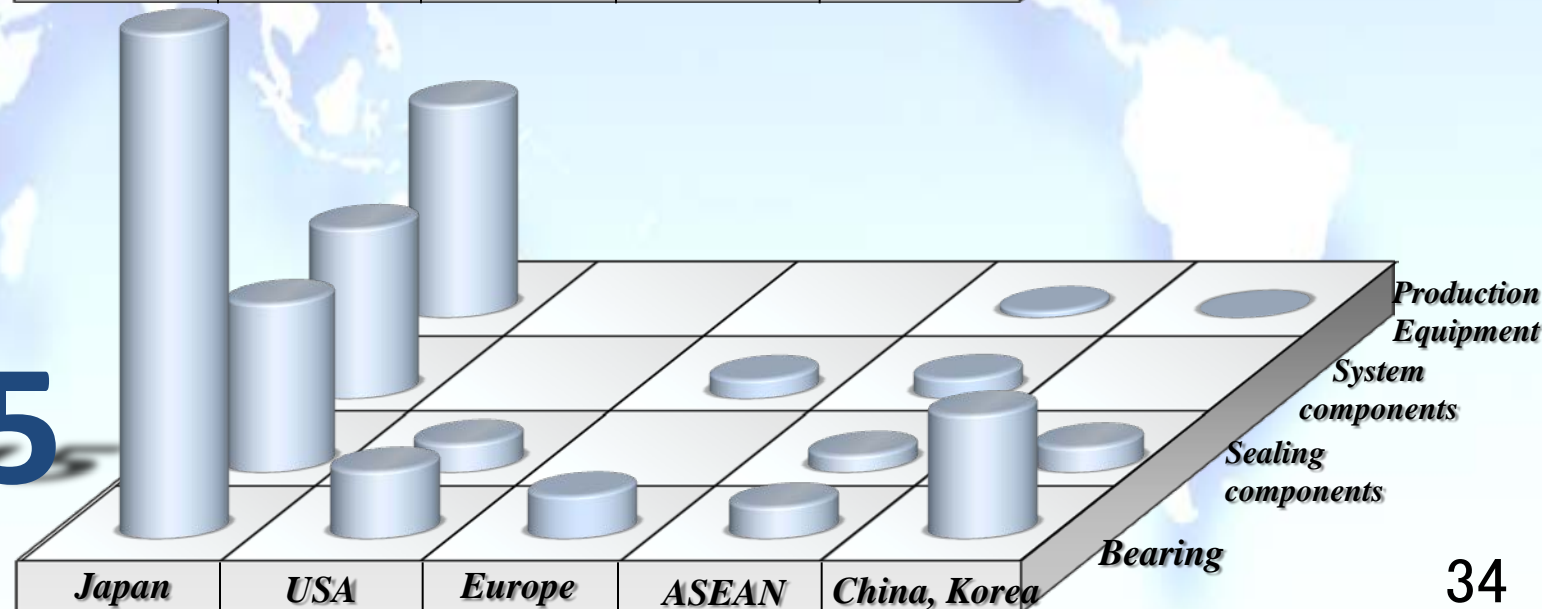
新製品をグローバルなお客様にお届けし、売上拡大を目指す

- すべり軸受世界NO.1
- システム製品のグローバルな拡大

2020



2015



終わりに



当社は本年12月に創業70周年を迎えます。
株主様をはじめとするステークホルダーの
皆様に支えられた70年だと感謝しております。
この思いをもとに、従業員一丸となって
次なる10年に向けて取り組んでまいります。



創業当時の本社



2014年11月に初めて発行した
統合報告書「大豊工業レポート」

ご清聴ありがとうございました

◆お問い合わせ先◆

大豊工業株式会社

総務部広報室

TEL 0565-28-2225(代表)